

1 基本項目	事務事業名	公園里親制度事業			担当部署	課名	都市計画課		
	予算事業名	公園里親制度事業				係名	計画公園係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1030			
	事業期間	開始年度	平成19年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	都市計画費
		施策名	15 良好な都市の形成					目	都市公園管理費
基本事業名		15-3 美しい都市景観づくりの推進				アウトソーシング導入状況 導入済(協働)			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	市が管理する都市公園、その他の公園及び緑地等の美化及び保全のため、市民が公園等の里親となってボランティア活動を実施することにより、環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、市民、事業者及び市が一体となって美しく住みよいまちづくりを推進することを目的とする。
	対象	都市公園、開発広場等
	手段(活動指標)	里親として登録された団体や市民へ、公園を管理するために必要となる消耗品等の支給を行なう。新規に公園里親制度に加入していただくように啓発活動を行なう。
意図(成果指標)	市が管理する都市公園等に親しみを持ってもらい、環境美化等に対する市民意識の高揚を図り、市民等と市が一体となって美しく住みよいまちづくりを推進する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 里親がいる公園	園	23	23	25	23	92.0%	25
	②							
	③							
	① 都市公園及び開発広場の里親率	%	24.5	24.5	30.0	25.0	83.3%	30.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	75,000	41,937	105,000	38,150	-9.0%	105,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	97,000	560	75,000	560	0.0%	75,000
	支出合計(A)	円	172,000	42,497	180,000	38,710	-8.9%	180,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	172,000	42,497	180,000	38,710	-8.9%	180,000
	収入合計	円	172,000	42,497	180,000	38,710	-8.9%	180,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4
	② 年間所要時間	時間	300	300	300	300	0.0%	300
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	0.0%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	1,432,000	1,302,497	1,440,000	1,298,710	-0.3%	1,440,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	里親として登録された団体や市民へ、公園を管理するために必要となる消耗品等の支給を行なった。新規に公園里親制度に加入していただくように啓発活動を行なった。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため
目的の妥当性					1 妥当である	市民協働により、美しく住みよいまちづくりを推進するため	
対象の妥当性					1 妥当である	都市公園等を美化・保全することによって、美しく住みよい環境づくりを推進できるため	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	3 低い・未実施	新規に登録された公園がないため	
				類似事業の有無	1 なし	他の課等では同様の事業がないため	
				上位施策への貢献度	2 普通	まちづくりに都市公園等は不可欠なため	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	最小限の予算で実施しているため	
				実施主体の適正化	1 適正である	この制度に合った団体(個人)のため	
				負担割合の適正化	1 適正である	ボランティア活動のため	
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針(評価結果)	公園の維持管理のための道具購入等、必要最低限の費用で地元組織や個人による公園管理を実施している。今後、それぞれの地域にある公園がどうなれば地元で愛着のあるものになるかを検討し、地元と協働しながら管理を図らなければならない。当面は、市広報やホームページで公園里親制度を掲載し、制度を希望される地域の住民との協議を行なう。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	駅前広場等維持管理事業			担当部署	課名	都市計画課		
	予算事業名	駅前広場等維持管理事業				係名	計画公園係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1030			
	事業期間	開始年度	昭和47年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	都市計画費
		施策名	15 良好な都市の形成					目	駅前広場管理費
基本事業名		15-3 美しい都市景観づくりの推進				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	魚津駅前・駅西広場等を清潔で安全で良好な環境が維持されるよう適正な維持管理業務を行う。
	対象	魚津駅前広場及び魚津駅周辺公共施設（駅前・駅西広場、地下道、水飲み場など）
	手段 (活動指標)	清掃、エレベーター点検、蛍光灯の交換、樹木の剪定
	意図 (成果指標)	市の玄関口である魚津駅周辺が、清潔で安全な環境として良好に保たれている。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① エレベーター点検回数	回	12	12	12	12	100.0%	12	
	② タイル清掃回数	回	2	1	2	1	50.0%	2	
	③ うまい水清掃回数	回	24	24	36	36	100.0%	36	
	成果指標	① 修繕工事件数	件	5	2	5	7	140.0%	5
		② 修繕処理率	%	100	100	100	100	100.0%	100
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	6,287,000	4,681,969	7,475,140	6,086,123	30.0%	6,543,000
	②委託料	円	3,177,000	3,027,955	3,366,000	3,293,847	8.8%	3,400,000
	③工事請負費	円	3,745,000		3,745,000	3,207,600		210,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	108,000	92,416	108,000	95,053	2.9%	108,000
	支出合計 (A)	円	13,317,000	7,802,340	14,694,140	12,682,623	62.5%	10,261,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	13,317,000	7,802,340	14,694,140	12,682,623	62.5%	10,261,000
	収入合計	円	13,317,000	7,802,340	14,694,140	12,682,623	62.5%	10,261,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	800
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,360,000	3,360,000	3,360,000	3,360,000	0.0%	3,360,000
	総費用(A+B)	円	16,677,000	11,162,340	18,054,140	16,042,623	43.7%	13,621,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	清掃、エレベーター点検、蛍光灯の交換、樹木の剪定を実施	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市が所有する広場のため
目的の妥当性					1 妥当である	市が所有する広場のため	
対象の妥当性					1 妥当である	市が所有する広場のため	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	1 高い	苦情・要望には迅速に対応できており達成度は高い。	
				類似事業の有無	1 なし	他の課等では同様の事業がないため	
				上位施策への貢献度	1 高い	適正な維持管理は、良好な都市の形成、美しい景観づくりに貢献している。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最小限の予算で実施しているため	
				実施主体の適正化	1 適正である	市が所有する広場のため	
				負担割合の適正化	1 適正である	市が所有する広場のため	
	1次評価 (課長総括)	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果)	魚津駅は市の玄関口であり、適切な維持管理は不可欠である。駅前の融雪装置は水道水を使用しており、積雪量に応じて費用が高くなる現状である。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	屋外広告物許可及び啓発事業		担当部署	課名	都市計画課	
	予算事業名	住宅一般管理費		係名	建築住宅係		
	事業区分	法定受託事務		電話番号	0765-23-1031		
	事業期間	開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち		予算科目	一般会計	
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実		款	土木費	
		施策名	15 良好な都市の形成		項	住宅費	
基本事業名	15-3 美しい都市景観づくりの推進		目	住宅管理費			
根拠法令	屋外広告物法、富山県屋外広告物条例		アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
			総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	屋外広告物法（昭和24年法律第189号）の規定に基づき、①良好な景観を形成し、又は風致を維持すること、②公衆に対する危害を防止することの2つの目的から屋外広告物の規制を行う。	
	対象	・屋外広告物（広告物又は広告物を掲出する物件）を設置しようとする人 ・市内の事業所 ・市民	
	手段（活動指標）	・広報やホームページに掲載し、市内全世帯への周知を図る。 ・更新の案内を送付。 ・違反広告物の確認及び除去依頼。	
意図（成果指標）	・屋外広告物の設置を適法に行わせる。 ・市民の屋外広告物への理解を深め、景観や街づくりに対する意識を高める。 ・違反広告物や違反広告業者を減少させる。		

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 審査件数	件	45	61	45	68	151.1%	45
	② 更新案内送付件数	件	37	54	37	60	162.2%	37
	③ 違反パトロール件数	回	2	2	2	1	50.0%	2
	① 許可件数	件	45	61	45	62	137.8%	45
	② 違反広告件数	件	44	44	43	43	100.0%	42
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000
	支出合計（A）	円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	15,000	15,000	15,000	15,000	0.0%	15,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	500	500	500	480	-4.0%	480
	③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,016,000	-4.0%	2,016,000
総費用（A+B）	円	2,115,000	2,115,000	2,115,000	2,031,000	-4.0%	2,031,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	平成26年9月の「屋外広告物適正化旬間」に市職員と県職員と広告業者とで市内のはり札の簡易除却を実施した。また広報9月号で違反広告物について例年より紙面を拡大して掲載し、魚津駅前を中心に違反広告物の是正指導を行った。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	すみよい街をつくるためには必要なことだから
対象の妥当性					1 妥当である	対象しかないから
有効性	有効性	C	C	目標達成度	3 低い・未実施	違反物件が減らないから
				類似事業の有無	1 なし	美しい景観を作るための事業はほかにないから
				上位施策への貢献度	3 低い	なかなか事業が前に進まないから
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	もともとコストはかかっていないから
				実施主体の適正化	1 適正である	ほかに主体となるものはないから
				負担割合の適正化	1 適正である	ほかに負担する事業体はないから
1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針）	評価結果	評価結果	県から権限委譲されている事務であり、現状維持が妥当。 平成22年7月に県の屋外広告物条例が改正され基準も従来よりも厳しくなっており、関係業者等への更なる周知及び指導を行なうことや、担当職員も知識の取得のために研修をすることが必要である。 また、従来から違反している看板等を設置した施工者に撤去してもらう行動が必要。		評価結果	